

NO. 41 キャンドルファイヤー (CDF)

1 ねらい

ろうそくの炎を囲みながら活動することを通して、仲間と過ごす楽しさを味わい、集団の中で協力することの大切さを学ぶと共に、思い出づくりを図り、友情を深める。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 通年
- (2) 所要時間 60分～90分
- (3) 人数 何人でも
- (4) 活動場所 体育館, 多目的ホール
- (5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> ・燭台 3種類 (切り株型, 柄つき, 個人用) ・燭台 (切株型) 用シート ・衣装 (上下, 冠) ・アンプ, マイク ・CD カセットデッキ ・延長コード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく ・スタンプ用小道具 <p>*ろうそくはふれあい館でも購入可能 CDF セット (中型ろうそく×20, 小型ろうそく×20,) : 1,000 円/式 中型ろうそく : 30 円/本 小型ろうそく : 20 円/本</p>

(6) 主な係 (例)

—係—

- ・会場係・・・会場設定, 燭台やろうそくの準備・片付け
- ・誘導係・・・火の神, 火の子の誘導や配置, 衣装の準備・片付け
- ・効果係・・・マイク, テープ, 伴奏, 照明等の担当
- ・出し物係・・・事前に準備させておく。同じ種類のものに偏らないように配慮する。
- ・進行係・・・会の進行, 儀式の部とスタンプの部に分けてもよい。

—役割—

- ・営火長・・・団体のリーダー, 全体運営
- ・火の神・・・点火の言葉
- ・火の子・・・グループの代表, 誓いの言葉



燭台 切株型

3 活動上の留意点

- ① 音楽や照明を効果的に使って雰囲気作りをするとよいです。
- ② 展開例は様々あり, 集団の構成や野外活動の目的に合わせて工夫できます。
- ③ 会場を暗くしたときの安全を配慮し, ろうそくにも気をつけてください。
* 中央の切り株の燭台の下にシートをしいてください。
- ④ 活動後は団体で清掃を行ってください。

4 展開例

プログラム	係	内 容
1. 入場 (照明は暗く) 2. 夜の歌 3. 火の神 火の子登場 4. 点火の言葉 5. 分火 6. 誓いの言葉 7. 点火 8. 炎の歌	全 員 全 員 火の神 火の子 火の神 火の神 火の子 火の子 火の神 火の子 全 員	①静かに入場し、燭台を中心とした円を作り座る。 ②「遠き山に日は落ちて」などを歌う。 1番は合唱, 2番はハミング ③ハミングが始まったら, 火の神はトーチをかかげて火の子を従えて入場し, 場内を一巡してから所定の位置につく。 ④手持ち燭台をかかげておごそかに述べる。 ⑤火の神から火の子の燭台に分火する。 ⑥火の神から分火された後, 燭台をかかげて述べる。 ⑦中央の燭台と参加者の燭台に点火する。 ⑧「燃えろよ燃えろ」をおごそかに歌う。(ハミング等)
9. スタッツ (照明は明るく)	全 員	⑨班ごとに演技する。 ・割り当て時間を事前に示して, 全体が楽しめるように進行する。 ・合間に全員参加のゲームなども入れ, 盛り上げる。 ・演技者に対して拍手するなど, なごやかな雰囲気の中で進むようにする。
10. 営火長の言葉 11. わかれの歌 12. 退場	営火長 全 員 全 員	⑩キャンドルファイヤーをふりかえって ・営火の意義について ・野外活動や団体活動について (規律・協同・友愛・奉仕等の掲示あり) ⑪「今日の日はさようなら」を歌う。 歌の途中からハミングにしてもよい。 ⑫静かに退場する。歌いながら, またはハミングしながらの退場でもよい。